

今からできる! ごみ減量のススメ

問 生活環境課 ☎ 30-6116 FAX 27-0395

第6回 粗大ごみとして捨てる前に

引っ越しや片付けなどで家具や家電など大型物品を買い替える際、不要になった物はどのように処分していますか。粗大ごみとして捨てる前に、以下の方法を検討しましょう。

まず、リデュース(ごみ発生の抑制)について考える。

まだ使えるものであれば、買い替え時期を遅らせる、他の用途で使うなど、できる限り長く大切に使いましょう。

次に、リユース(再使用)できないか検討

売る → リユースショップ、フリマアプリ、「おいくら」の活用
譲る → 友人や知り合いなど、「ジモティー」の活用

リペア(修理、再生)やリサイクル(再生利用)ができるか検討

▶修理することでまだ使える可能性のあるものは、捨てずに直して使えば、ごみを減量できるうえ、節約にもつながります。
▶小型家電配回収サービス(リネットジャパンリサイクル株)による小型家電リサイクル)の活用

粗大ごみの種類

- ▶大型日用品
- ▶ふとん・じゅうたん
- ▶自転車
- ▶家具・建具
- ▶複合品その他
- ▶小型家電(1m以下の家庭用電化製品)



彦根市は「おいくら」、「ジモティー」、「リネットジャパンリサイクル株」と連携協定を締結しています。



◀「おいくら」「ジモティー」について



▲詳しくはこちら

清掃センターからのお知らせ

1月26日(月)から2月6日(金)まで
粗大ごみの受付を一時停止します。

問 清掃センター ☎ 22-2734 FAX 24-7787

定期整備工事のため、粗大ごみの直接搬入および有料戸別収集の受付ができません。搬入された場合は、お持ち帰りいただくことになりますので、ご注意ください。

彦根城は、知れば知るほど、オモシロイ。

未来に残そう みんなのお城 -vol.32-

問 彦根城世界遺産登録推進室
☎ 26-5833 FAX 26-5899



武士の正月 真足祝い(具足飾り)

甲冑のことを真足といいます。江戸時代の武士は、正月、真足祝いといって真足とともに太刀や弓矢が飾られ、その前に鏡餅を供えました。1月11日には、この餅を分けて食べる行事があり、ここから鏡開きの風習が生まれました。この真足祝いは、室町時代くらいからあったようですが、戦いの際に身に着ける真足は、武士にとって命を預ける大切な道具でした。武士はいつでも戦うことができるよう準備を怠らなかったことが良くわかる行事です。彦根城博物館では、1月10日(土)まで、この真足飾りがされていますのでぜひご覧ください。



● ● ● 配布(自治会による配布): まちづくり推進課 ☎ 30-6117
(自治会による配布以外): 総務課 ☎ 30-6100
▼ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

● ● ● 点字および音声版: 様書簡便課 ☎ 27-9981
外語翻訳(英語、中国語、ボルトガル語、ベトナム語)
人権政策課 ☎ 30-6113